

(北名古屋市)

市町村の 基本情報	学校数	小学校 10 校、中学校 6 校		
	地域学校協働活動推進員等の配置状況	統括的な地域学校協働活動推進員	1 人	
		地域学校協働活動推進員	23 人	
	CS 及び地域学校協働本部設置状況	統括コーディネーター	0 人	
		地域コーディネーター	0 人	
	CS を導入している学校数	小 10 校	中 6 校	
地域学校協働本部がカバーしている学校数		小 10 校	中 6 校	



(活動の実際)

(活動内容)

- ・ 学習支援—読み聞かせや実習補助、校外学習の引率・補助ボランティアなど
- ・ 環境整備—図書館整備、園芸・除草活動など
- ・ 地域連携—登下校時の安全指導、ボランティアによる草取り・ゴミ拾い、運動会での受付・交通整理・見守りボランティア、ぞうきん作りボランティアなど

(活動で意識していること)

- ・ 子どもたちの地域の顔見知りをつくり、困った時に助け合える環境、居場所をつくる。
- ・ 大人がサポートし過ぎないように心掛け、除草活動、清掃活動その他全てが「学びの場」であることを忘れないようにしている。
- ・ 子どもたちが興味をもち、主体的に参加できるきっかけをつくり、自ら動く行動力、褒められたり認められたりすることで得られる自己有用感・自己肯定感を高められる場をつくる。

(地域学校協働活動推進員の当日の動き)

- ① 参加ボランティアに当日の流れの説明、役割分担を決める。
- ② 地域学校協働活動推進員も活動に同行し、活動指示を行う。
- ③ 活動後、ボランティアと担当教員に活動の内容について話を聞く。
- ④ 教頭に報告し、今度の活動に生かす。
- ⑤ 関係各所にお礼の連絡を行う。

(コロナ禍での苦労・工夫)

新型コロナウイルス感染症の影響により、学校への出入りや集まった活動が制限される中、学校側の要望に応じて、手洗い場や階段の手すり、教室や図書室の机・椅子、児童のよく触るところなどを消毒するなど消毒作業・トイレ清掃を中心にボランティアを実施している。

また、コロナ禍だから活動できないではなく、「コロナ禍でもできることは何か？」をテーマに掲げ、人と人との接触が少ない、外での園芸、除草活動のほか、清掃活動や図書整備ボランティアも積極的に実施している。

(◎成果 ●課題)

- ◎ 子どもたちからの「ありがとう」という言葉が活力になっており、気楽に先生とも話ができ良好な関係を築いている。
- ◎ 各学校における学校運営協議会でも、学校側が今困っていることや助けをお願いしたいことなどの意見が活発にでており、地域住民と学校との連携強化が図られ、地域全体で子どもを育てようとする意識が高まっている。
- 活動内容、活動体制は充実してきているので、協力姿勢をさらに高めていけるよう、活動を周知していくよう努める。
- 各学校の地域学校協働活動推進員が悩みの共有や情報交換ができるよう、情報交換会、研修を定期的開催するよう努める。

(関係者の声)

- ・ 子どもたちが安心して学校生活を送れるよう、少しでも役に立つのであれば嬉しい。(ボランティア)
- ・ 運動会に向けて、CSボランティアの方と地域の方が除草作業を行ってくれたおかげで、とてもきれいになりました。本当にありがとうございました。(教員)